

足りない!! ゲームのプログラマー、CGデザイナー

産官学でIT人材育成



札幌協議会設立、調査や教育充実

札幌市内で、ゲームのプログラマーやコンピューターグラフィックス（CG）デザイナーの人材が不足している。市場規模の拡大や関連企業の札幌進出が相次いでいることなどが背景にある。IT産業の基幹産業化を目指す札幌市、企業や専門学校が協議会を設立し、産官学で人材育成に乗り出した。

（坂本有香）

ゲームや動画などをつくる「コンテンツ産業」の2016年の市場規模は、スマートフォン向けゲームの伸びを受け、前年比2・7%増の12兆4千億円。

首都圏での技術者確保が難しくなっており、地方に拠点を新設する会社が増えている。公式な統計はないが札幌市内では、80社程度の関連企業が活動しているとみられる。ゲーム業界関係者によると「ここ数年で大手を含め5社以上が進出した」

札幌の中心部にある「ハ・ン・ド」のオフィス。若手クリエイターが中心となってゲーム制作に打ち込む

といい、人材不足に拍車がかかっている。

札幌のゲームソフト開発「ハ・ン・ド」の三上哲取（51）は「仕事はあるのに人がいない」と頭を抱える。同社は女兒向け人気ゲーム「アイカツ」シリーズなどを手掛けるが、最近は大手からソフト開発依頼が来ても人員が足りず、断ることもあるという。

同社は約100人いるプログラマーやデザイナーの大半は地元採用。ここ数年「1人」が続いた新卒採用を、新年度は5人にした。

北海道IT推進協会（札幌）が16年度に行った調査では、道内のIT企業223社の約7割が「プログラ

マーが足りない」と回答。現場が求める人材と、専門学校や大学の新卒者が持つ技能の隔たりが大きいのも課題だった。

こうした状況から、ハ・ン・ドなど6社と道内の専門学校4校、札幌市や道が11月に協議会を設立した。国の助成を受け、人材育成

に関する企業のニーズ調査、専門学校での新たな教育プログラム整備に、3年間で取り組む。事務局の橋本直樹・吉田学園情報ビジ

ネス専門学校副校長は「道内がコンテンツ産業の一大拠点に成長する足がかりになつてほしい」と話している。